

令和3年川辺町長選挙 候補者アンケート

佐藤 光宏 氏 アンケートのご回答

1) NPO・町民活動団体への期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化し、課題解決のために様々なNPOや町民活動団体などが活動しています。川辺町のより良いまちづくりのために、NPO等に期待していることはありますか。

はい

いいえ

その他

詳細

川辺町には様々な町民活動団体があります。高齢の方の集り、スポーツ愛好の皆様、趣味サークル、文学研究会等、様々な活動を展開されています。その中で若いママさん達の会をご紹介します。ヤングママさん達は、川辺町で頑張っているママを応援する、ママのリラックス・休息の機会を作る、子供のために・家庭のために・自分のためにママに楽しんでもらう、町内外のママとの交流の場を作る等、様々な活動を通じて豊かな家庭生活をエンジョイしています。こうした活動が、自分達ばかりか町内外の人々に良い刺激を与え、川辺町の活性化に繋がっていきます。同じ悩みや喜びを共有し、より良いまちづくりを進めています。

2) NPOや町民活動団体への活動支援施策について(300字以内)

「川辺町 第5次総合計画 後期基本計画」の第6章第1節「協働の推進」では、主要施策「町民活動団体の育成」、関連施策「協働のためのルールづくり」・「町民活動についての情報提供」が挙げられております。

今後、NPOや町民活動団体の取り組みを推進するために川辺町が行う施策や仕組みが必要だと思いませんか。不要な場合の理由や必要な場合の具体的な施策等についてお答えください。

はい

いいえ

その他

詳細

川辺町でも徐々に人口減少が進んでいます。人口減少社会では目立って町に活気がなくなり、人々の往来が少なくなります。若者が都会へ流出するのはごく当然と受け止められ、諦めにも似た閉塞感が漂います。人口減少の最大の原因は人口の自然減です。亡くなる方に比べて誕生する子供の数が少なく、必然的に人口は減少します。この行き詰った状況を打破するためには、川辺町に住まう人々が夢と希望を持ち、未来に向かって笑顔で進んで行く積極的なまちづくりを推し進める必要があります。そのため町民活動団体を育成し、濃密な人間関係を築く必要があります。町民自らが地域づくりの担い手となり行政との協働により活力あるふれるまちづくりを進めましょう。

ご協力ありがとうございました。